

◆第1委員会室◆

※ 政治への興味や18歳で選挙権を得ることなどについて、活発な意見交換が行われました。



【議員 8名】

座長：今井光子

議員：亀田忠彦、猪奥美里、佐藤光紀、大国正博、荻田義雄、宮本次郎、
小泉米造

【高校生 10名】

(ろう 学 校) 藤原直斗、伊藤鮎美、横田いくみ、奥井優太、内野裕介
(育英西高等学校) 西田早織、井尻紗恵子、浦瀬絢、井上梓、谷垣安祐

<高校生からの感想・意見>

- 選挙権年齢が18歳に引き下げられたことは賛成だが、若い議員がまだまだ少ない。若い議員がふえていけば、いろいろ改善できるようになると思うので、もっと若い人たちが政治に参加していく機会がふえればいいと思う。
- 高校生議会に参加して、奈良に住んでいながらも気づかなかった問題点などを知ることができてよかったと思う。
- 政治と全くかかわりがなかったが、高校生議会に参加して、政治等に興味を持つことができた。積極的に参加していこうというきっかけになった。
- 選挙権年齢が18歳に引き下げられたが、18歳は高校3年生で大学受験を控えている人も多いし、大学に入って1年目という、なれていない状況で政治に参加するのは難しいと思う。

<議員からの感想・意見>

- 高校生議員の質問、提言を聞いて非常に勉強になった。皆さんの声をこれからの議会の活動の中で反映できればと思う。
- 今回質問するにあたって奈良県のよいところを勉強されたと思うが、今回だけで終わるのではなく、さらに勉強して、奈良県のすばらしいところを友達やいろいろな人に広めてほしい。

<座長まとめ>

- 皆さん堂々としていて、本当に自分たちの意見を伝えたいという思いが伝わってきたのはとてもよかった。
前回までの高校生議会で、声を上げたことによって現実的に改善された事項もあるので、今日のこの場以外でも気がついたことがあれば、いろいろな形でメッセージを伝えていただければと思う。

◆第2委員会室◆

※ 質問や提言のテーマ、18歳で選挙権を得ることなど、「若者の政治への参加」について、活発な意見交換が行われました。



【議員 8名】

座長：森山賀文

議員：田中惟允、岡史朗、西川均、小林照代、太田敦、粒谷友示、川口正志

【高校生 10名】

（青翔高等学校）黒上聖泰、小森湧生、東晴菜、上田愛満、健山ありさ

（奈良北高等学校）板澤薫、松本あずさ、久保田真帆、福田結菜、吉田朋佳

<高校生からの感想・意見>

- 高校生議会に参加して、同じ年や年下の高校生がしっかり話しているのを見て、自分も頑張らなければという良い刺激をもらった。
- 人前で話すことがすごく苦手で、今も緊張しているが、高校生議会に参加して、成長できた部分もあったので、良い経験になったと思う。
- 選挙権年齢が引き下げられ初めて投票したが、自分では情報を何も持っておらず親に教えてもらうなどした。これからは、人が主観的に捉えている情報ではなく、自分で調べて、自分の判断で投票ができるようにしたいと思う。
- 選挙カーから候補者の名前だけが聞こえてくるが、その人がどういうことを目指しているのかがわからないので、内容を学生にもわかりやすく、できれば、かみくだいて伝えてほしい。

<議員からの感想・意見>

- 有名人の中には、奈良県出身と言わない方もいるが、わが郷土を一番大事にということの基本を捉えて、皆さんには、自分は奈良県出身だと堂々と言ってほしい。
- 奈良県の産品がわからないのでは、県内産業の活性化はできないので、活性化を進めるために、まずはみんなに、奈良県のふるさと自慢をすることから始めてほしい。
- 初めての選挙で、候補者の情報がなくてわからなかったとのことだが、候補者の名前や政策を掲載した選挙公報なども参考に、情報を取得する努力を続けてもらって、自分が本当に良いと思う人を選んでほしい。

<座長まとめ>

- これからの社会を築かれるのは、若い皆さん方です。皆さんこそが政治に対してしっかりと声を上げて、行動を起こしていただきたい。皆さんの今後の活躍を期待しています。

◆第3委員会室◆

※ 学校の特色や、18歳で選挙権を得ることなど「若者の政治参加」について、活発な意見が交わされました。



【議員 7名】

座長：清水勉

議員：山中益敏、川口延良、中川崇、藤野良次、山本進章、山村幸穂

【高校生 10名】

（西の京高等学校）藤本茉由子、吉川昌佑、芳仲貴久、原田瑠佳、倉石一真

（二階堂高等学校）加藤渚、石崎諒子、植田健太、今浦真優、高田拓弥

<高校生からの感想・意見>

- 二階堂高等学校のキャリアデザイン科では、1年生の時から介護施設などにインターンシップに行くので、多くの職業を体験したり学んだりすることで、早くから自分の将来を考えるよい機会になっていると思う。
- 西の京高等学校の地域創生コースでは、ボランティア活動に参加していろいろな方とふれあったり、課題を研究して発表したりするので、コミュニケーション力が身につくと思う。
- 選挙は、すごく堅い大人なイメージがあるので、学校の授業などで、身近な課題やテーマを使って自分たちで話し合ったり、議論したりすると、もっと政治が親しみやすく身近に感じられ、選挙にも行きやすいのではないかなと思う。

<議員からの感想・意見>

- 生徒会活動と大人の政治はやっていることが一緒で、選挙で代表を選び、その人達を中心に物事を決めて実行していくということなので、例えば、議場で質問した通学路の改善について生徒会で採択して、奈良市議会や奈良県議会に要望するなど、生徒会を政治の体験の場として何かやってみたらおもしろいと思う。
- 選挙権年齢が18歳に引き下げられたが、若い世代の人が多く投票に行くことで、若い世代の意見が施策に反映されるので、投票に行くことが大事である。
- 例えば、市町村で行われる選挙と県や国で行われる選挙は選挙区の区割りが違う。選挙の仕組みそのものも勉強しておいてほしい。

<座長まとめ>

- 今日の高中生議会は、若い方が政治に関わり、これからの未来を真剣に考えていくよい機会になったと思うので、選挙にも参加し、政治に参加することの重要性を、今日だけでなく、ぜひ今後も考え続けていってほしいと思う。